

1. 学習計画

- 自然と人間……………総3時間
- 1 生物どうしのつながり…………… 1時間
 - (1) 水槽の中の生物のつながり
 - (2) 変化に富んだ自然を持つ日本列島
- 2 アクアマリンふくしまでの観察…………… 2時間
 - (1) バランスドアクアリウムの観察
 - (2) 熱帯アジアの水辺の観察

2. 指導過程

学習単位 個人 班 クラス 全体 研修室 要 不要 職員 要 不要

1 学習テーマ

「生物のつながり」

2 ねらい

さまざまな条件下での生き物たちのつながりと、生き物たちと人間生活との関連を理解させる。

3 活動計画……2時間

時間(分)	内 容
100	1 館内の自由見学 (1) 班単位になって自由に見学する。 (2) 各コーナーにおける生物のつながりを図式化できるよう観察する。 ○ふくしまの川と沿岸 日光→植物→有機物→小動物→小魚→大型魚→有機物 ○バランスドアクアリウム 日光→植物→有機物→小動物→小魚→有機物 ○熱帯アジアの水辺 日光→植物→有機物→小動物→小魚→大型魚→有機物 ○水の循環 雨→山→上流→中流→下流→大洋→蒸発→雨 (3) 福島県のと海と北の海・南の海を比較しながら観察する。 ○ふくしまの自然と北の海の自然との違い ○ふくしまの自然と南の海の自然との違い

3. 参考資料

■使用可能教材

- VTR「サンゴの海・沖縄」……………30分
- VTR「流氷の海・知床」……………30分
- VTR「プランクトンと魚」……………10分
- マリンハンドブック

■資料掲載頁

P42～P43
P50～P51